

# 国内外でのDNSSECに関する検討状況

2009年12月11日(金)

株式会社日本レジストリサービス

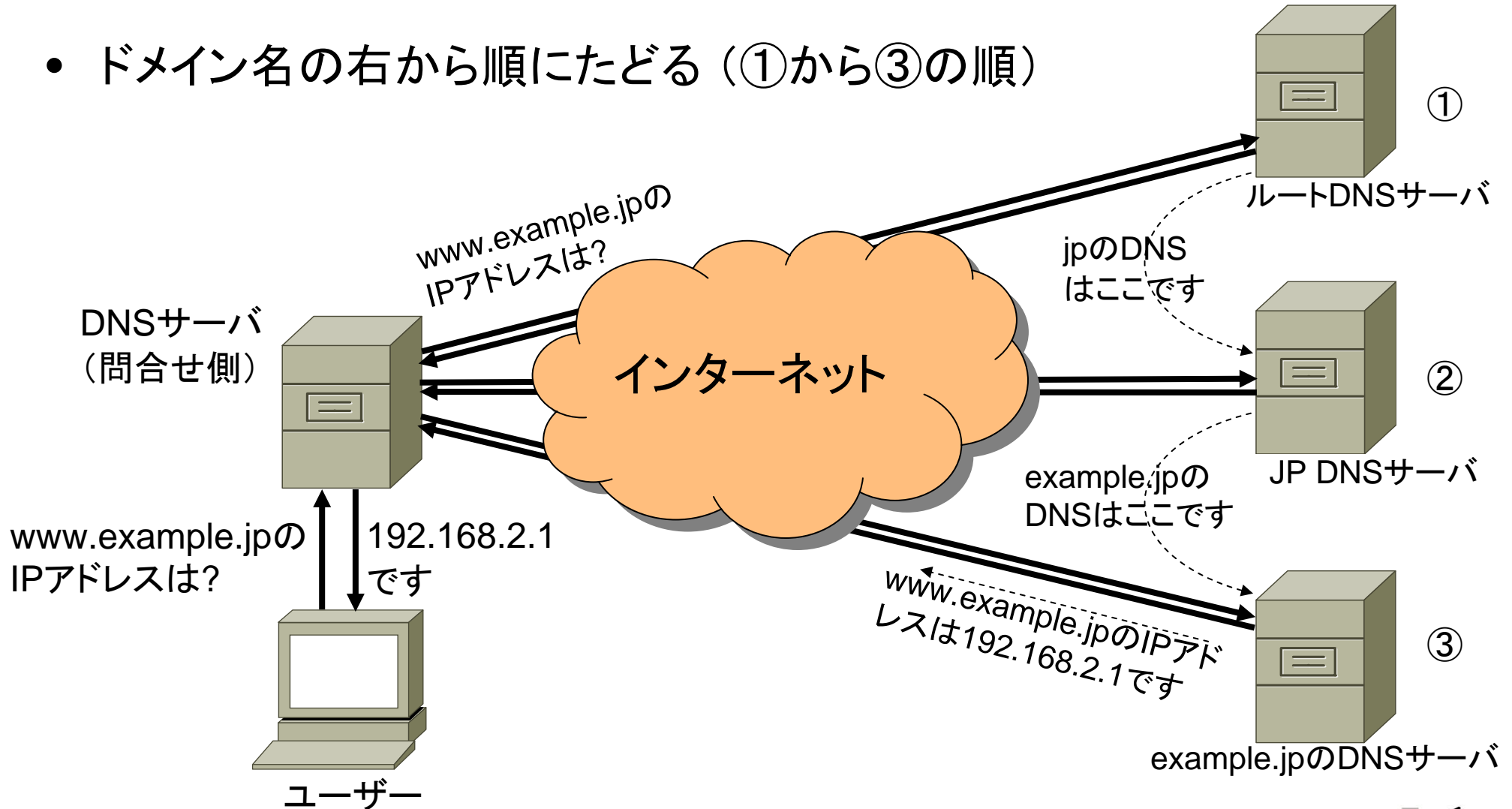
# 目次

1. DNSSECとは(振り返り)
2. 国外の状況
  - 各TLDにおけるDNSSEC対応状況
  - ルートDNSサーバのDNSSEC対応予定
3. 日本国内の状況
  - JPRSの活動状況
  - DNSSECジャパン(DNSSEC.jp)の設立

# 1. DNSSECとは(振り返り)

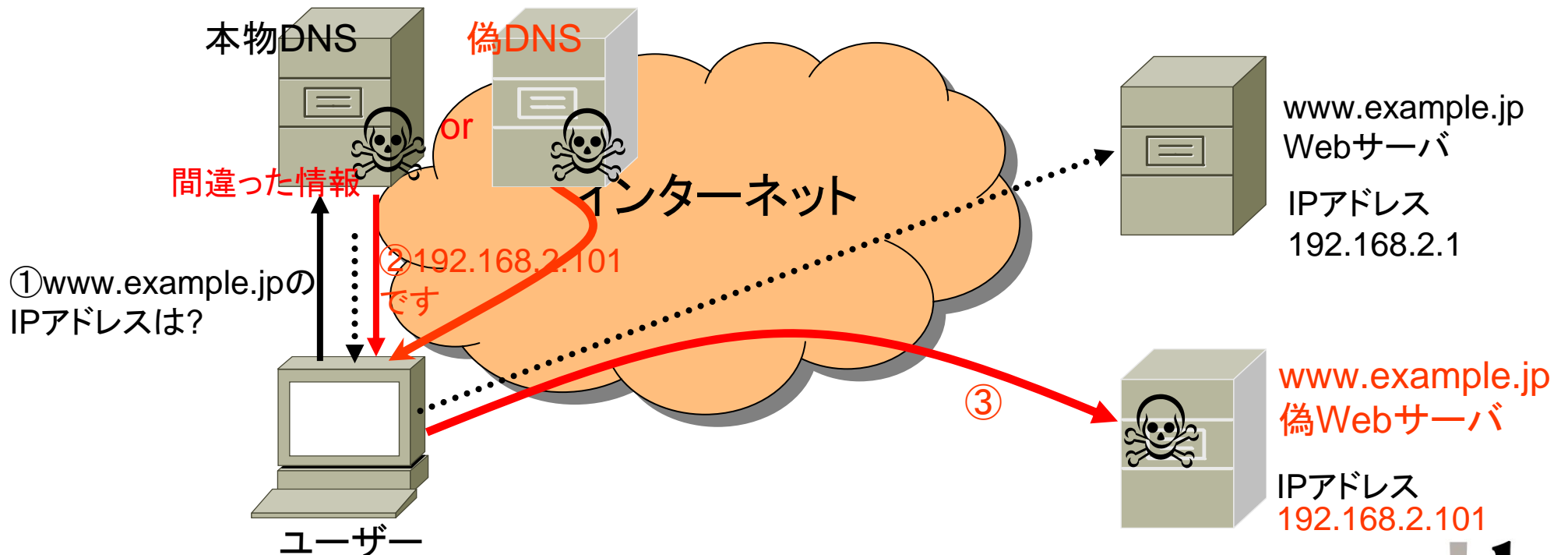
# DNSの仕組み

- ドメイン名の右から順にたどる (①から③の順)



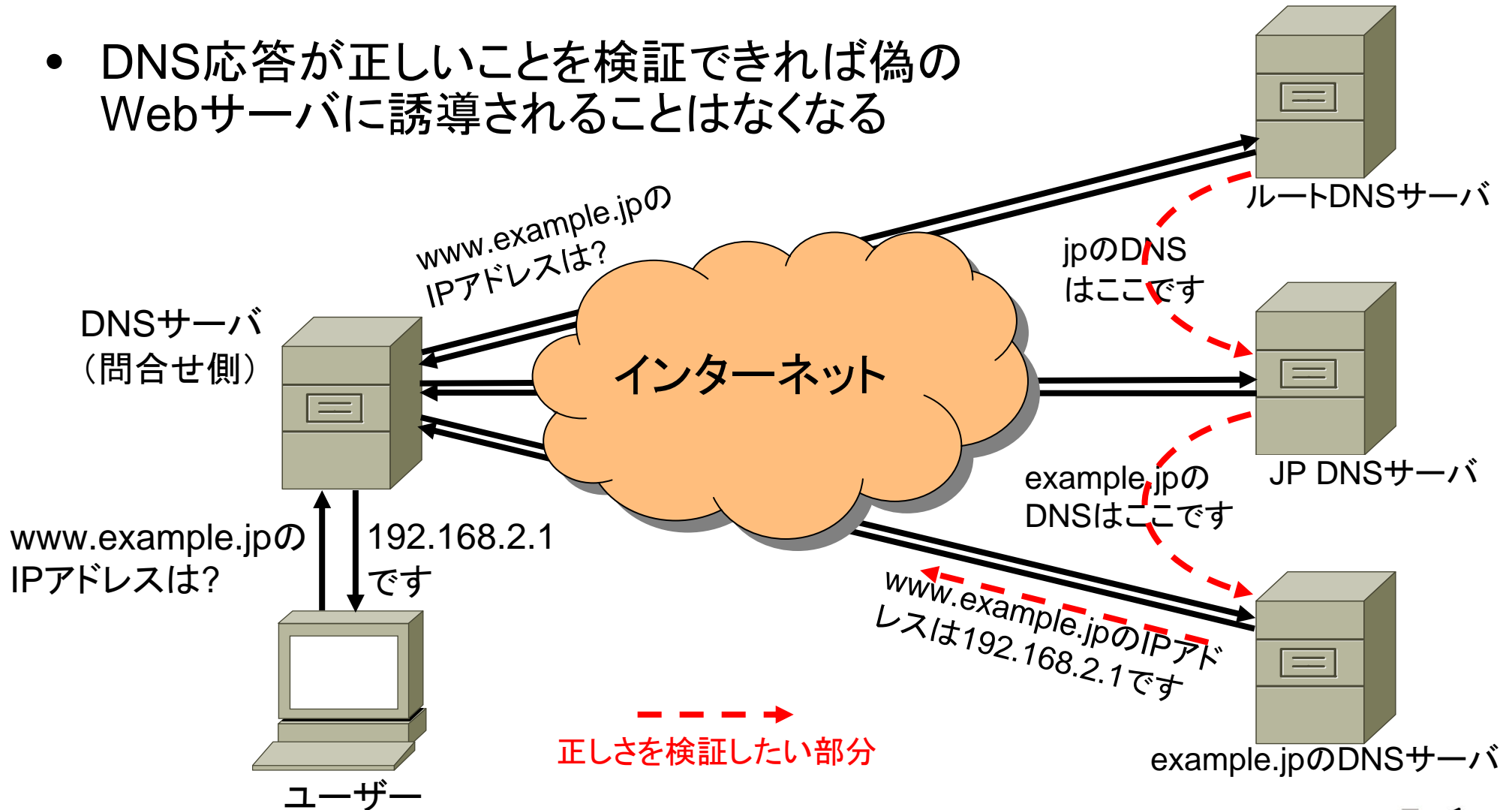
## DNSの応答が偽造されたら

- もし本物のDNSが間違った情報を返したら・・・ または、
- 本物のDNSサーバ以外から来た応答を信じてしまったら・・・
  - ユーザーは大混乱
    - 間違ったWebサイトにアクセスしてしまう
    - 間違った相手に電子メールが送られてしまう



# DNS応答の正しさの検証

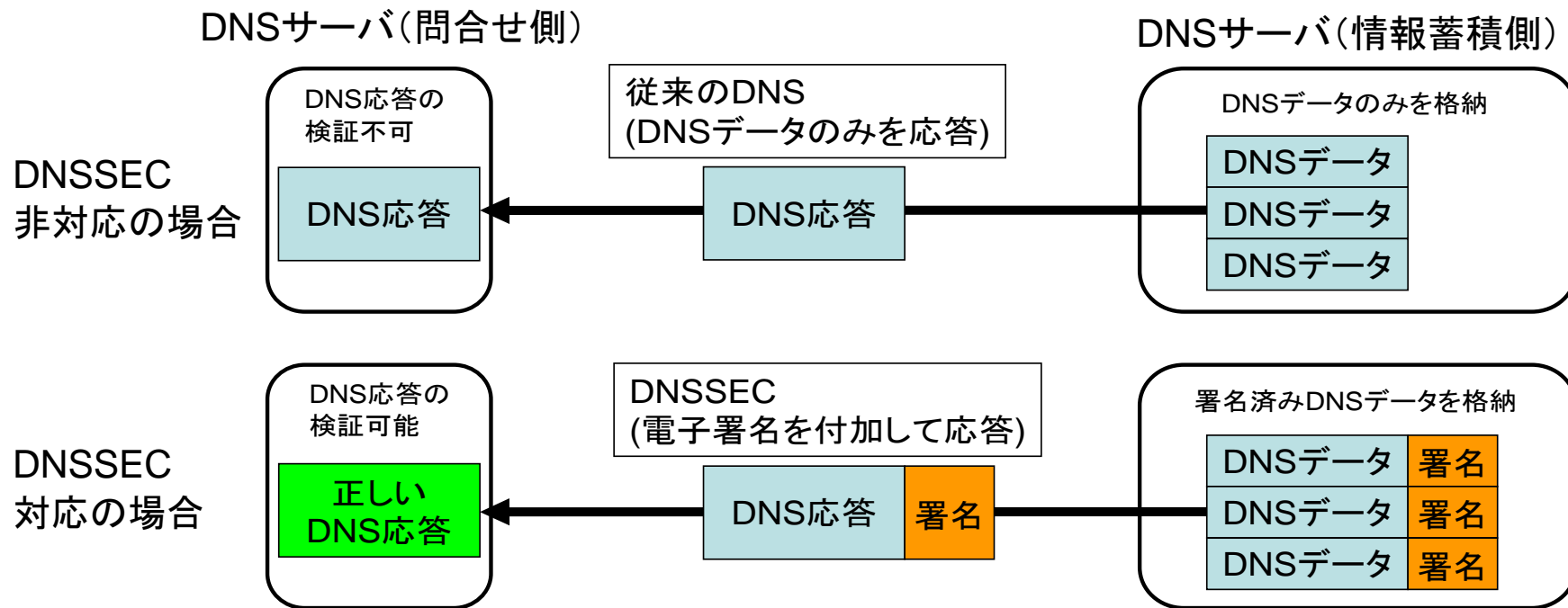
- DNS応答が正しいことを検証できれば偽のWebサーバに誘導されることはなくなる



# DNSSECとは

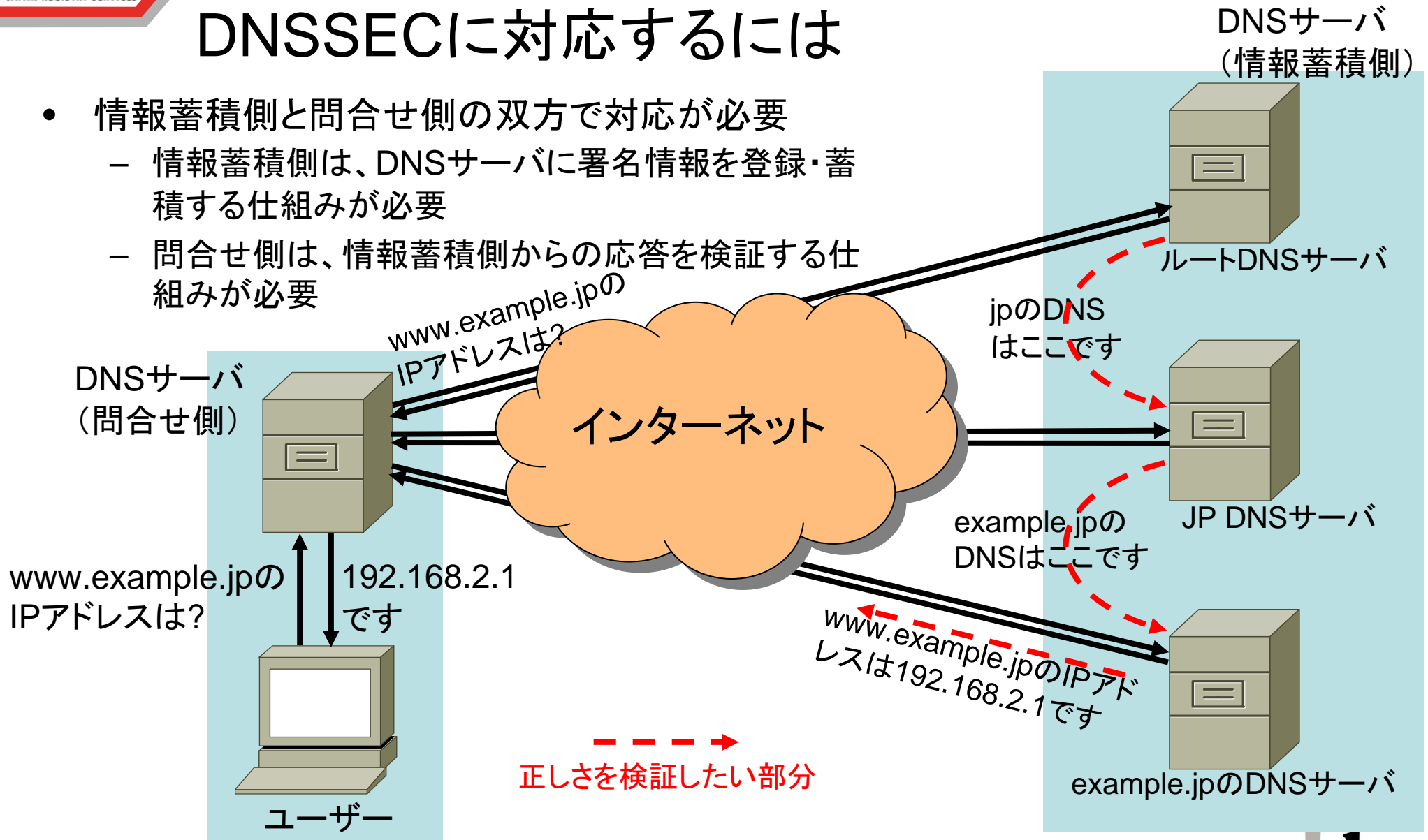
- DNSのセキュリティ機能拡張 (DNS Security Extensions)
- DNSサーバで、応答に公開鍵暗号による署名(\*)を付加し、出自を保証
- ユーザー側で、DNS応答を検証(偽造有無を自動的に検出)

(\*)電子データに署名者のみが作れる情報を付加する技術。  
紙文書での印・サインにあたる。



# DNSSECに対応するには

- 情報蓄積側と問合せ側の双方で対応が必要
  - 情報蓄積側は、DNSサーバに署名情報を登録・蓄積する仕組みが必要
  - 問合せ側は、情報蓄積側からの応答を検証する仕組みが必要



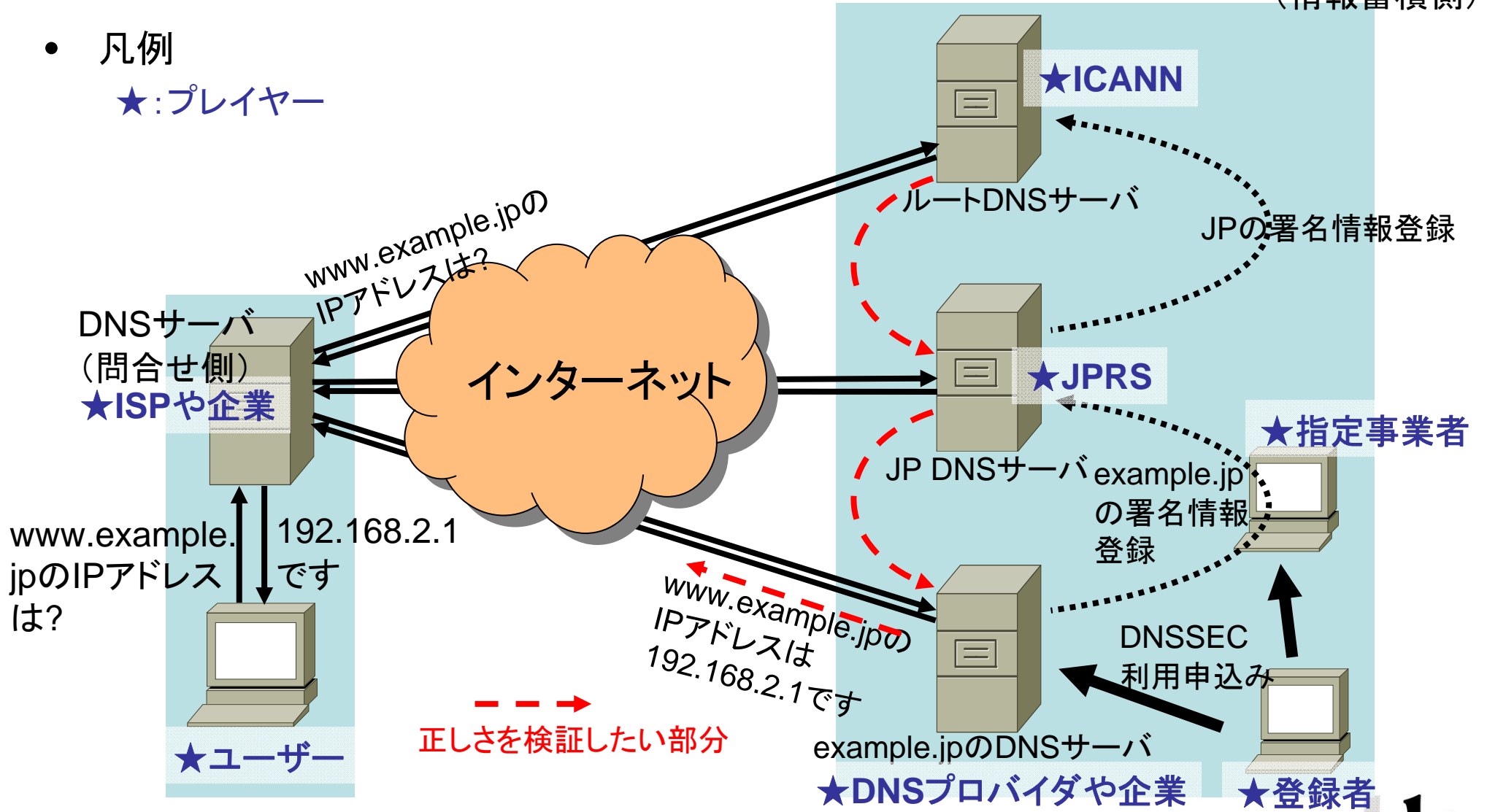


# DNSSECに関するプレイヤー

DNSサーバ  
(情報蓄積側)

- 凡例

★:プレイヤー



## 2. 国外の状況

# TLDにおけるDNSSEC対応状況(導入済)

状況	種別	TLD名	特記事項
導入済	ccTLD	SE(スウェーデン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2005年9月に導入開始、世界で最初にDNSSEC対応したTLD</li> <li>・2009年1月から料金を無料化</li> <li>・これまでに多くのノウハウを外部に発信</li> </ul>
		PR(プエルトリコ)	・2006年8月に導入開始
		BG(ブルガリア)	・2007年1月に導入開始
		BR(ブラジル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年6月に導入開始、2009年1月に全属性で対応</li> <li>・最新方式(NSEC3)を採用した最初のTLD</li> </ul>
		CZ(チェコ)	・2008年9月に導入開始
		TH(タイ)	・2009年3月に導入開始、アジアで最初にDNSSEC対応したccTLD
		TM(トルクメニスタン)	・2009年10月に導入開始
		US(アメリカ)	・2009年12月に導入開始
	gTLD	MUSEUM	・2008年9月に導入開始
		GOV(米国政府)	・2009年2月に導入開始、2009年末に全組織が対応予定
ORG		・2009年6月に導入開始、2010年に本サービス化予定	

# TLDにおけるDNSSEC対応状況(導入予定)

状況	種別	TLD名	特記事項
導入を表明 (非公式含む)	ccTLD	CA(カナダ)	・2009年10月にテストベッドを開始
		CH(スイス)	・2009年9月に実地検証開始、2010年2月サービスイン予定
		CN(中国)	・2010年末までに導入予定
		DE(ドイツ)	・2009年5月にテストベッドを開始
		GR(ギリシャ)	
		JP(日本)	・ <b>2010年</b> を目処に導入予定
		KR(韓国)	・2010年6月に導入し、2011年1月に全空間で対応予定
		LI(リヒテンシュタイン)	・2009年9月に実地検証開始、2010年2月サービスイン予定
		MY(マレーシア)	・2010年第四四半期に導入予定
		NL(オランダ)	・2010年8月に導入予定
		RU(ロシア)	
	UK(イギリス)	・プロトコル策定・IANAとの共同実験など積極的に活動	
	gTLD	BIZ	・2010年第一四半期に導入予定
		CAT	・2009年中に導入予定
		COM	・2011年の早い時期に導入予定
		EDU	・2010年3月末に導入予定
INFO		・2010年中に導入予定	
	NET	・2010年末までに導入予定	

# ルートDNSサーバのDNSSEC対応予定

- ICANNとVeriSignを中心に導入プランを検討
  - ICANN : ルートDNS情報の内容責任者
  - VeriSign : ルートDNS情報の編集責任者
- 導入スケジュール発表(2009年10月)
- 発表されたスケジュール
  - 2009年12月1日 ルートDNS情報への署名開始
  - 2010年1月～7月 署名を付加したDNS応答を返す  
ルートDNSサーバの数を段階的に増やす  
(署名の検証はできないようにしておく)
  - 2010年7月1日 全てのルートDNSサーバが、署名を付加したDNS応答を返し、署名の検証が可能な状態にする

### 3. 日本国内の状況

## JPRSの活動状況（技術検証）

- JPRS単独での検証（～2009年11月）
  - DNSSECの基本機能確認
  - DNSSEC導入時のDNSサーバへの影響検証
- 他組織\*が運用するJP DNSサーバでの検証（2009年11月～）
  - \* IJ、JPNIC、NII、WIDE
  - 海外拠点など遠隔地への転送検証、高負荷時の機能検証
- 各種プレイヤーと連携した検証（2009年12月～（予定））
  - 複数の大手ISPと、DNSサーバ(問合せ側)への影響検証等の実施
  - 機器ベンダー数社と、ネットワーク機器に対するDNSSEC対応検証の実施
  - 指定事業者と、DNSSECサービス導入への機能検証等の実施
  - 関連団体へのDNSSEC導入の啓発と技術検証への参加の働きかけ
- DNSSECジャパン(後述)を舞台にした連携（2009年11月～）
  - 一般参加型の技術検証実施に向けた協力

## JPRSの活動状況（サービス開発）

- DNSSECサービス仕様検討
  - JP DNSデータの署名、および、登録者の署名情報をJP DNSに登録するサービス
  - DNSSECサービス導入による主な変更点
    - 指定事業者向け申請インターフェースの追加（登録者の署名情報登録）
    - JP DNSデータに署名を付加するための改造
    - Whois、データエスクロー等の周辺機能の改造
- 指定事業者向けサービス仕様説明
  - 2010年1月、指定事業者向けに公開予定
    - サービスの手続き説明資料
    - 申請インターフェースの仕様



## JPRSの活動状況（対外活動）

- DNSSECの導入・普及を促進するための国内コミュニティの形成
  - DNSSECジャパン(後述)の設立支援と参加(11月)
- 指定事業者向け情報提供
  - JPパートナーズミーティングでの解説(12月)
- 教育・啓発活動
  - DNSOPS.JP BoF\* \* DNS運用者の有志会合  
   「いますぐDNSSECで遊ぶには」「DNSSECの導入に向けて」(9月)
  - JAIPA 地域ISPの集い in 群馬 「これだけは知っておきたいDNSSEC」(9月)
  - インフラエンジニア勉強会 hbstudy #4 「今こそDNSSEC!」(10月)
  - Internet Week 2009でのDNSSECチュートリアル(11月)
  - DNSOPS.JP BoF  
   「DNSSECの拡張とBIND 9.7の新機能、小規模なDNSSEC遊びその後」(11月)
  - 日本UNIXユーザ会 「DNSSECの動向と運用」(12月)
- 国際的な議論・情報交換
  - ICANNソウル会合にて「DNSSEC in .JP」発表(10月)
  - IETF広島会議前後における他レジストリとの情報交換(11月)

# DNSSECジャパン(DNSSEC.jp)の設立

- 2009年11月24日設立
- 活動目的
  - DNSSECの導入・運用に関する課題の整理と検討を行い、参加者の技術力の向上、ノウハウの共有を促進するとともに、ツールの提供や普及のための技術解説などの対外活動も行う。
- 活動内容
  - DNSSECの導入・運用に関する課題の整理・共有
  - DNSSECの導入・運用に関する技術検証の実施、ノウハウの蓄積
  - DNSSECの導入・運用に関するガイドラインの策定
  - 成果の対外的発信によるDNSSECの普及・啓発
- 会員（2009年12月10日現在）
  - ISP、ホスティングプロバイダ、レジストリ、インターネットエクスチェンジ等、全17会員
- <http://dnssec.jp/>